

氏名・職位・学位	専門	主要研究テーマ	主な業績・職務実績等			
			著者名、著書・論文等の名称	出版社名・掲載雑誌名等	巻・頁	出版年
木本一成・ 准教授・ 博士(歯学)	専門分野: 口腔保健学・予防歯科学 (衛生学・口腔衛生学)、 スポーツ歯科医学  担当科目: 歯科疾患の予防と管理、 予防と地域歯科保健、高 齢者歯科学、 臨床実習Ⅰ(臨床座 学)、臨床実習Ⅱ	地域予防歯科の推進、 ライフステージ別の歯科口腔保健活動 の推進体制の構築、 フッ化物応用の啓発、  スポーツ歯科医学の啓発、 口腔インプラントのメンテナンス、 災害歯科医療(保健)学	【著書】 1. 荒川浩久, 廣瀬公治, 安井利一編集:生活と健康-測定 と評価法- 第5版 VI章 マウスガード 4. マウスガードのメンテナンス	学建書院	pp.1-12	2016年
			【論文】 1. Matsuyama Y, Aida J, Taura K, Kimoto K, Ando Y, Aoyama H, Morita M, Ito K, Koyama S, Hase A, Tsuboya T, Osaka K: School-based fluoride mouth-rinse program dissemination associated with decreasing dental caries inequalities between Japanese prefectures: an ecological study.	Journal of Epidemiology	doi: 10.2188/jea. JE20150255	2016年
			【プロシーディング】 1. 豊田寿久, 北村 豊, 木下三博, 鈴木正史, 奥寺 元, 木 本一成: フッ化物処理吸収性合成ハイドロキシアパタイトを用 いたヒト上顎前歯部顎骨再生の解析.	一般社団法人東京形成 歯科研究会2015年会報 誌, 特集号	pp.34-41	2015年
			2. NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議/NPO法人 ウォーターフロリデーションファンド編: フッ化物利用をすす めるために ~最近の世界と日本の動き~. 木本一成: 2日本の動き 2-1. 集団応用フッ化物洗口の実態 調査(2014年)-全国915特別区・市町村の10,335施設で、 1,046,489人が実施-/山本武夫, 木本一成: 4 NPO日Fのフ ロリデーション見学ツアー-4-1. 米国海軍横須賀基地水道水 フロリデーション.	プレス	pp.10-11, pp.28-29	2015年
			3. Kimoto K, Taura K, Ohashi T, Shimizu K, Miyazaki H, Sakai O: National survey on school-based fluoride mouth rinsing programme in Japan: 2014.	IDJ	65(Issue Supplement s2), 40	2015年
			4. Matsushima A, Kimoto K, Ishikawa E, Hasegawa T, Sasaki H, Watanabe K, Hamada N: Antibacterial effects of mouth moisturizer containing chlorine dioxide for oral appliance.	IDJ	65(Issue Supplement s2), 172	2015年
			5. 特集「学校におけるフッ化物応用」にて「日本学校歯科医 会」の取り組みを上げ!! ~「フッ化物応用に関する見解」 「フッ化物応用に関する年表」「学校におけるフッ化物応用ガ イドブック」~ / 「フロリデーション」各国代表が齶蝕の一次予 防対策に掲げる!! ~世界会議2015 シンポジウム1「超高齢 社会における歯科医療の課題」~ / 事務局からのお知らせ 第64回日本口腔衛生学会・総会 ミニシンポジウム2. 第38回 むし歯予防全国大会のご案内(予報).	NPO法人日本むし歯予防 フッ素推進会議通信	No.51, pp.1 / pp.2 / pp.6-7	2015年
			6. フッ化物洗口調査(2014年確定値)と都道府県の施設別 実施率 - 全国915市(区)町村の10,335施設で、1,046,489人 が実施!! -.	NPO法人日本むし歯予防 フッ素推進会議通信	No.52, pp.1-3	2015年
			7. 事務局からのお知らせ(新潟県編集・発行「フッ化物洗口 マニュアル」の一部改訂のご紹介 / 第38回むし歯予防全国 大会in SAGAならびにNPO法人日F会議定期社員総会のご 案内).	NPO法人日本むし歯予防 フッ素推進会議通信	No.53, pp.7	2015年
			8. レポート FDI第103回Annual World Dental Congress大会 タイ・バンコク NCDs抑制に注目集まる.	日本歯科新聞	1899号, pp.5	2015年
			9. 投稿 世界のフッ化物利用状況.	日本歯科新聞	1900号, pp.8	2015年
			10. 学校歯科保健アジア会議報告 -F応用の現況を報告 (参加者数は年々増加)-.	日本歯科新聞	1901号, pp.4-5	2015年
			11. Fluoride News 国際歯科連盟(FDI)が「う蝕予防のため のフッ化物普及状況」を公表(世界のフッ化物利用状況、水 道水フロリデーション) / 事務局からのお知らせ(第3回米軍 横須賀基地内水道水フロリデーション施設研修実施要領、 絵本「フッマンといっしょに歯をまもろう」: 発行の御案内、新 処方 う蝕予防フッ化物洗口剤「ミラノール®(顆粒11%)」(医療 用医薬品)、施設における集団応用フッ化物洗口実態調査 2014(大規模調査: 方法・費用負担等)、施設における集団 応用フッ化物洗口実態調査2016(簡易調査)について(予 報)、新発売 むし歯予防薬フッ化物洗口剤「エフコート®」(要 指導医薬品: スイッチOTC)).	NPO法人日本むし歯予防 フッ素推進会議通信	No.54, pp.1-2, pp.4-5	2016年
			12. 総会記録 第64回日本口腔衛生学会・総会 ミニシンポ ジウムのまとめ ミニシンポジウム2「学校歯科保健におけるフ ッ化物応用を考える」	口腔衛生学会雑誌	65: 379-380	2015年
			13. 会員の声 わが国でフロリデーションが実現しない要因 について、日本口腔衛生学会の責任を考える.	口腔衛生学会雑誌	65: 398	2015年
【著書】 1. 石上 恵一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集: 要説 スポーツ歯科医学 VI章 マウスガード 4. マウスガードのメンテナンス	医学情報社	pp.103-105	2014年			
2. 大山喬史監修, 上野俊明編集: 実践 スポーツマウスガ ード 5章サポート事例 10ハンドボール	医学情報社	pp.101	2014年			

【論文】 1. 権田知也, 豊島由佳子, 田辺麻衣, 木本一成: 2014年度日本スポーツ歯科医学会が提唱する標準的で適切に製作されたマウスガードのコンセンサス-ワーキンググループ4: 清掃, 保管, 修理, 再製-	スポーツ歯学	18, pp.81-82	2015年
2. 木本一成, 赤坂 徹, 宮城 敦, 村松仁志, 李 昌一, 槻木 恵一: 大規模災害時における歯科医療関係者の役割 ~ 歯科口腔保健の推進体制を中心に考える~	神奈川歯学	50-特, pp.22-27	2015年
3. 木本一成 監修: フッ化物でむし歯予防 健やか成長 いきいき生活	和歌山県歯科口腔保健支援センター	pp.1-6	2015年
4. 木本一成, 赤坂 徹, 宮城 敦: DVD教育資料 大規模災害でお口の健康を守るために. 監修木本一成	文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	S1203004	2015年
【プロシーディング】 1. 木本一成, 槻木 恵一, 平田幸夫: 大災害時に お口と全身の健康を守るために	歯科衛生士だより	20, pp.1-4	2014年
2. 海外レポート 第11回アジア予防歯科国際会議 全身の健康と口腔で意見交換	日本歯科新聞	1853号, pp.4	2014年
3. 田口千恵子, 木本一成: 平成25年度学校保健統計調査結果確定値(文部科学省) / 第37回むし歯予防全国大会のご案内(予報)	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.47, pp.2-3	2014年
4. 相田 潤, 木本一成: 事務局からのお知らせ	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.48, pp.5	2014年
5. 国内でのフッ化物洗口実施1万施設、100万人を超える!! -施設における集団応用でのフッ化物洗口実態調査(2014年 速報値)-	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.49, pp.1	2014年
6. 晴佐久 悟, 木本一成: 2014年FDI総会“水道水フッロリデーション”による口腔保健の推進について、FDI政策声明が再度採択!! / 事務局からのお知らせ 米軍横須賀基地内水道水フッロリデーション施設研修実施要領	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.50, pp.1-2 / pp.5	2014年
7. トピックスの解説	神奈川歯学	50-特, ii	2014年
【著書】 1. 眞木吉信編: フッ化物をめぐる誤解を解くための12章 Chapter 2 集団フッ化物応用の使用薬剤と安全管理 Chapter 4 フッ化物応用の有効性 Chapter 9 歯や口腔以外の全身への影響	医歯薬出版	pp.10-17 / pp.22-28 / pp.46-51	2014年
2. 吉田和市編集: 徹底ガイド口腔ケアQ&A -すべての医療従事者・介護者のために- (第2版) ナーシングケアQ&A第30号	総合医学社	pp.40-42 / pp.160-162 / pp.163-165	2014年
【著書】 1. 日本におけるフッ化物製剤 -フッ化物応用の過去・現在・未来-, 第9版	口腔保健協会	pp.4-12 / pp.31-33 / pp.34-36 / pp.37-38 / pp.50-52 / pp.54-57.	2013年
2. 臨床家のためのオーラルプライアンス入門, 第1版	医学情報社	pp.43-45	2012年
【論文】 1. Ohno M, Kimoto K, Toyoda T, Kawata K, Arakawa H: Fluoride-treated Bio-resorbable Synthetic Hydroxyapatite Promotes Proliferation and Differentiation of Human Osteoblastic MG-63 Cells.	Journal of Oral Implantology	39(2): 154-160	2013年
2. Komiyama K, Kimoto K, Taura K, Sakai O: National survey on school-based fluoride mouthrinsing programme in Japan: Regional spread conditions from preschool to junior high school in 2010	International Dental Journal	64, 127-137,	2014年
【論文】 1. フッ化物処理吸収性合成ハイドロキシアパタイトを用いたビーグル犬顎骨部インプラント埋入における骨再生の解析	日本口腔インプラント学会誌	25・740-745	2012年
2. 日本における集団応用でのフッ化物洗口に関する実態調査を担当して -フッ化物洗口実態調査2012(確定値)より-	行歯会(全国行政歯科技術職連絡会)だより	85・3-11	2013年
3. 特定非営利活動法人 日本むし歯予防フッ素推進会議のご紹介	行歯会(全国行政歯科技術職連絡会)だより	77・3-8	2012年
【プロシーディング】 1. フロクニュース: 佐賀県の12歳児DMFTとフッ化物洗口実施率 -799市町村で、8,584施設、891,655人が実施(2012年3月)- / 全国76地方公共団体で歯科口腔保健の推進に関する条例が施行	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.43, pp.3-5 / pp.6-8	2013年
2. 処方せん医薬品以外の医薬品 フッ化物洗口製剤(ミラノール顆粒11%, オラプリス洗口用顆粒11%)の添付文書改訂へ -用法・用量、追加等に伴う改訂によって、週一回法(900ppmF)に適應できる!!-	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	号外, pp.1	2013年

3. 事務局からのお知らせ	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.45, pp.4	2013年
4. レポート 第7回学校歯科保健アジア会議・バリ島 台湾のフッ素洗口実施率99.8%	日本歯科新聞	1806, pp.7	2013年
5. 日体協公認スポーツデンティスト養成講習会が開講 スポーツ医学概など学ぶ	日本歯科新聞	1809, pp.5	2013年
6. 特集水道水フッロリデーションの是非 研究者の視点不安の声と科学の接点	月刊歯科医療経済	Vol.30, 28-29	2013年
7. 事務局からのお知らせ／新刊「水道水フッロリデーション」のご紹介	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.46, pp.3-5	2014年
8. お国自慢あれこれ 大学「紫紺の海 樹齢百年を超える桜 歯科界を支える多くの同窓生 人は財産 出会いは宝」	神奈川歯科大学同窓会会報	第119号, 36-37	2014年
9. 被災者の健康支援のためのオールラケア用品ハンドブック	文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業S1203004	pp. 1-8	2014年
【プロシーディング】	IDJ	62(Issue Supplement s1), 40-41	2012年
1. National Survey on School-based Fluoride Mouth Rinsing Program in Japan: 2010	IDJ	62(Issue Supplement s1), 13	2012年
2. Study on Properties of the bone regeneration by bioresorbable synthetic hydroxyapatite-induced after application of fluoride solution -The micro area X-ray diffraction on the bone regeneration in a Beagle dog study-	IDJ	62(Issue Supplement s1), 13	2012年
3. ブロックニュース: 全国808市町村で8,568施設、892,707人が集団応用のフッ化物洗口を実施 !!	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.40, pp.1-3	2012年
4. 第36回むし歯予防全国大会のご案内	NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議通信	No.41, pp.2	2012年
5. 歯や口腔以外の全身への影響。フッ化物をめぐる誤解をどう解く? ⑨	歯界展望	vol.120 No.6, 1126-1127	2012年
6. FDI 100周年記念大会 (in 香港)	歯界展望	vol.121 No.2, 381	2013年
7. FDI in 香港	日本歯科新聞	1757, 8-9	2012年
8. 大規模災害時での口腔保健管理マニュアル -医療従事者向け-	文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業報告書	pp. 3-4 / pp. 18-21 / pp. 22.	2013年
公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC) 強化 (医・科学) スタッフ			
公益財団法人日本アンチドーピング機構 (JADA) Senior Doping Control Officer			
公益財団法人日本体育協会 (JASA) 公認スポーツデンティスト			
公益財団法人日本ハンドボール協会 医事専門委員会 委員・アンチドーピング特別委員会 委員			
公益財団法人日本ボディビル・フィットネス連盟 医科学委員会 委員・アンチドーピング委員会 委員			
公益財団法人神奈川県体育協会 スポーツ医科学委員会 委員			
一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 理事、評議員、教育普及委員会 委員・渉外広報委員会 委員 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 認定医、認定マウスガード研修施設責任者			
一般社団法人かながわスポーツ・健康づくり歯学協議会 副理事長、企画室長兼務、マニュアル検討委員会委員長、ノンコンタクトスポーツ委員会委員長、倫理審査委員会委員長			
北区ボディビル・フィットネス連盟 理事			
公益社団法人日本口腔インプラント学会 基礎系指導医			
公益社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東北口腔インプラント研究会 顧問			
The International Congress of Oral Implantologists (ICOI) Diplomate & Fellowship			
The International Society of Blood Biomaterials (ISBB) Diplomate			
NPO (特定非営利活動) 法人かながわ健康づくり歯科ネットワーク 副理事長			
一般社団法人日本口腔衛生学会 代議員・評議員、指導医・認定医 口腔衛生関東地方研究会 幹事			
NPO (特定非営利活動) 法人日本フッ化物むし歯予防協会 理事、学術編集委員会 委員、NPO日F通信 編集局長			

		横浜市 嘱託歯科医			
		社会福祉法人 ゆめ和柳町ほいくえん 嘱託歯科医			
		社会福祉法人 ゆめ和ほいくえん 嘱託歯科医			
		神奈川歯科大学学会 評議員			
		(その他の所属学会・団体) 一般社団法人日本小児歯科学会 日本歯科医療管理学会 公益社団法人日本歯科医師会 一般社団法人日本学校歯科医会			